

		A. 居室全体を検知範囲とするシステム		B. ベッド上を検知範囲とするシステム		C. 多種連携システム	
製品名	HitomeQ (ヒトメク)	A.I.Viewlife	見守りケアシステムM-2	Yuiコール			
メーカー	コニカミノルタ QOLソリューションズ 株式会社	エイアイビューライフ株式会社	フランスベッド株式会社	株式会社平和テクノシステム			
特徴	介護業務のワークフロー改善サービスを提供。その一つに見守り機器を位置づける。機器の使い方から、蓄積データの分析・活用・構築までサポートするとしている。居室全体を対象とした高性能なセンサーで危険予測、映像通知が可能。現在は介護報酬改定に対応したLIFE支援サービス等を開発中。	居室全体を対象とした高性能なセンサーで危険予測、映像通知が可能。室内の様子は24時間365日を通し常時記録できる。生体センサーをベッド真上に設置するため、非接触ながらも夜間・看取り対応ができる。他のコミュニケーションロボット、環境センサーとの連動など拡張性が高い。	ベッド内臓のセンサーで体重移動を検知し、利用者の身体の動きをナースコールで通知する。シンプルな仕組みで誤作動が少ない。	電話・ナースコールを中心に展開し、各メーカーのセンサーと連動、一元管理するためのプラットフォームを提供する。			
カメラ性能	行動分析	○	○				
	映像のみ				○		
	なし			○			
標準検知範囲	室全体	○	○				
	ベッド			○			
	多種組合せ				○		
販売開始時期	2016/4～	2018/10～	2013年(M-1)旧型式 2017年(M-2)	2010年ごろ			
導入実績	69施設 (2021年1月時点) 特養が40%弱で最多	約60施設 1200台	病院 約200施設 高齢者施設 約100施設	800件 (2020年末時点) 介護施設8割 医療は小規模なクリニック等が中心 100床以下の施設への導入が多い			
新設：既設	4：6	6：4	2：8	9：1			
主要な機器と設置	・各個室：行動分析センサー（天井） ・各個室：ケアコールスイッチ ・職員：スマホ端末 ・スタッフコーナー：システム管理サーバー	・各個室：生体センサ（天井・ベッド直上） ・各個室：見守りセンサ（天井） ・職員：スマホ端末（Android/iOS/iPad） ・スタッフコーナー：専用サーバー	・見守りケアシステムM-2内蔵ベッド ・分配機（ベッドと居室NC接続） ・液晶手元コントローラ ・バイタル・温湿度【オプション】	・呼出しボタン ・心拍離床センサー ・温湿度センサー ・見守りカメラ ・インカム ・入退室検知 ・人感センサー検知 ・CAREベッド連動（フランスベッドM-2） ※フランスベッドM-2との連携の際には体重測定可			
検知対象	起床、離床、転倒・転落、呼吸に伴う体動	危険予兆動作：起床、端坐位、立位、離床 危険動作：ベッド転落、ずり落ち、転倒、うずくまり横たわり、呼吸異常、トイレ異常、画角外異常 活動動作：トイレ、入室・退室	離床予知（動き出し、起き上がり、端座位）、離床、離床管理（一定時間経過しても戻らない時）	心拍数・呼吸数、温度・湿度、 離床・在床、照度			
わかること	検知対象参照	居場所：ベッド、居室、トイレ、不在 動作：危険予兆動作、危険動作、生活 自立度：日常生活動作	検知対象 +体重+バイタル・温湿度【オプション】 PCIにてベッド上の人の有無【オプション】	検知対象参照			
通知方法	スマートフォンに音声と映像で通知	通知：スマートフォン（Android/iPhone） モニタPC（デスクトップ/ノートPC） シルエット画像	連携ナースコール	ナースコール			
映像のプライバシー配慮	注意危険行動・体動異常の検知時、コール呼出し時のみ居室内の映像が表示される	※ベッド上の人と布団の認識可 ※検知時のみ映像が見える設定も可 動作検知時点より前後計最大2分間 365日24時間の常時録画設定可能 ※エビデンスに使用可	カメラなし	異常時にモニタリング可能※			
映像記録	転倒/転落前後の約1分間ずつを記録 (エビデンス動画)		カメラなし	呼出し時のみ録画			
コスト	約50万円/床	約40万円/床 ※センサ（見守り+生体）	※ベッド代金込みの価格	※採用機器による			